

# フィリピンで訪日旅行の魅力を紹介 ～「Travel Tour Expo 2016」に参加～

シンガポール事務所

自治体国際化協会シンガポール事務所は、フィリピン旅行業協会が主催する「Travel Tour Expo 2016」に参加し、日本政府観光局(以下 JNTO)バンコク事務所と連携して訪日観光 PR を実施しました。

23 回目を迎える「Travel Tour Expo 2016」はフィリピン最大級の旅行博です。日本から参加した北海道観光振興機構や大阪観光局など6 団体が日本の観光情報をフィリピンの消費者にアピールし、併せて現地旅行事業者が訪日旅行商品を販売しました。

## 1 フィリピンの訪日旅行客の概要

2015 年 9 月より実施されたフィリピンの訪日旅行客に対する数次ビザの大幅緩和、フィリピン富裕層の増加、フィリピンペソに対する円安傾向などによる追い風を受け、2015 年のフィリピンからの訪日旅行客数は過去最高の 268,300 人（前年比 45.7%増）を記録しました。これはベトナムの前年比 49.2%増に次ぐ ASEAN 第 2 位の高い伸び率となります。



大盛況の Visit Japan Pavilion

## 2 フィリピン訪日旅行客の最新トレンド

会場ではゴールデンルートの起点、終点となる東京や大阪に関する内容が多く聞かれました。

訪日旅行商品を購入した上で、自由時間に行くべき東京や大阪の名所に関する質問をする方が多く、初めて日本を訪れるフィリピンの旅行者にとって東京・大阪は欠かせない様子でした。

しかし、フィリピンの訪日旅行市場でもリピーターが北海道や九州などの地方へ拡散する動きが随所に見られ始めています。

一方、豪華クルーズ船で長崎に行くので名所を教えて欲しいという夫妻の姿もありました。フィリピンで訪日旅行ができる方は富裕層に該当しますが、一部では更なる富裕層が出現し始めているという印象を受けました。



日本の桜はフィリピンでも大人気

### 3 2016年における各種動向



日本の漫画・アニメも若者に浸透

2016年度、JNTOはフィリピン・マニラ首都圏に海外事務所の新設を予定しており、訪日旅行客の更なる増加を図ります。また、ジェットスター・ジャパンは日本国内LCCとして初めて、東京(成田)・関西・中部＝マニラ線を順次開設します。

日本とフィリピンの国交正常化60周年の記念すべき本年は、ますますフィリピンからの訪日旅行客が増えそうです。

当事務所では、引き続きASEAN諸国の訪日旅行市場最新情報を収集し、関係機関とも連携しながら地域の魅力を発信していきます。

### 4 Travel Tour Expo 2016について

概要	フィリピン旅行業協会（PTAA: Philippine Travel Agencies Association）が主催するフィリピン最大規模の国際旅行博覧会。
開催期間	2016年2月5日(金)～2月7日(日) 10:00～21:00 ※7日は～19:00
開催場所	フィリピン・マニラ首都圏 SMX Convention Center
対象	一般消費者
入場料	60ペソ
出展団体数	ジャパン・パビリオン共同出展団体6団体（全出展団体約300団体）

※ Travel Tour Expoはフィリピン旅行業協会主催で年に1回（2月頃）マニラ首都圏主要コンベンションセンターにて実施します。今後の予定など詳細については、JNTO日本語サイト（<http://www.jnto.go.jp/jpn/>）の下部にあるイベントスケジュールを随時御確認ください。

（佐々木所長補佐 札幌市派遣）